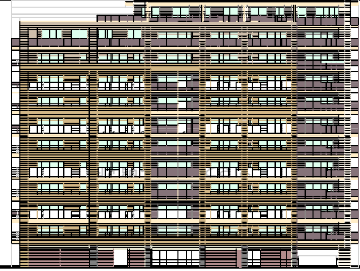


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フリーディア和白2丁目 新築工事	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市東区和白2丁目1211番11	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	214 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年12月8日
敷地面積	2,648 m ²	作成者	黒田美由紀
建築面積	881 m ²	確認日	2023年12月18日
延床面積	6,300 m ²	確認者	馬場奈美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	全ての住戸において、ZEHレベルの断熱、設備を有し、さらに遮音に優れた仕様の材質を使用することや、室内照明・空間の快適性などに配慮し、住む人の日常生活に配慮した設計となっている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮を等級5レベルであるUA値0.6以下にするため、断熱を強化し、室内空間をより快適なものとしている。また、使用材料も安全なものとし、健康への配慮もあ	階高・天井高を高く設計することで快適性に配慮している。	アプローチ、車寄せ、植栽が目隠しにならない程度に配置され、外と中の空間を上手に繋いでいる。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮、一次エネルギー共に高い水準であるZEHを確保することで、より一層の効率化を図っている。	節水型の台所水栓や便器を使用することで、水資源保護に配慮している。	ライフサイクルCO ₂ の排出量の削減により、地球温暖化に配慮。また、光害対策ガイドラインも考慮し、広告物の照明なども行わないようにしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される